

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年9月25日
事業名	生涯学習推進事業	担当課・係名	生涯学習課 生涯学習係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	4
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成11年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町民の多様な学習意欲に対応するため、生涯学習の推進と自主学習の活動援助を図る				
対象 (誰を・何を)	町民、生涯学習グループ、PTA、子供会などの団体				
内容	各種講座・教室の開催、サロン・ド・カルチャー制度、小中学校PTA家庭教育学級への補助支援、家庭教育、青少年教育、高齢者教育等の社会教育を推進する。				
根拠法令・条例等	社会教育法、大磯町単位子ども会事業費補助金交付要綱				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,835	2,880	2,941
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,835	2,880	2,941
	職員人数 (概算職員数)	人			0.35
	人件費計 (b)	千円			1,574
総事業費 (a)+(b)	千円	2,835	2,880	4,515	
事業費内訳 H 25 年度	報酬：1,210千円 共済費：17千円 報償費：480千円 需用費：60千円 役務費：267千円 使用料及び賃借料：388千円 負担金補助及び交付金519千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 社会教育指導員	人	1	1	1
	② 大磯町民(4月1日基準)	人	33,037	32,827	32,625
活動指標 (活動量)	① 社会教育指導員	人	1	1	1
	②				
成果指標 (達成度等)	① 講座開催回数	回	35	36	36
	② サロン・ド・カルチャー団体数(上限15)	団体数	11	14	15

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 学習機会、情報提供、人材育成を基幹とした事業展開、および団体に対する補助金や交付金による支援についても、公益性、社会的需要、公正性の観点から妥当と考える。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 開催した各講座とも、ほぼ定員の申込参加者があることから、町民の学習要求に対し、的確に対応できているのではないかと考える。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 開催した各講座とも、ほぼ定員の申込参加者があることから、町民の学習要求に対し、的確に対応できているのではないかと考える。
	・コストに対して効率的か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 必要最低限の経費および人員のなかで事業を進めていると認識している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 必要最低限の経費のなかで事業を進めているが、講座の一部に費用対効果について再考する余地があると考え。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 生涯学習のニーズを把握しながら企画を進めていく。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	事後のアンケート等をもとに次回以降の企画を検討していく。
② 平成26年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	サロン・ド・カルチャー事業を見直し、平成27年度より新事業へ移行する。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

講座参加者による自主学習グループの設立を支援し、自主学習サークルのレベルアップのために人材登録者増加を促進していく。
--